

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 広島県 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	県立大崎海星高等学校 全校生徒101名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 行事名 (講演会)
4 目標 (ねらい)	オリンピックは、世界中のアスリートが競い合う姿を目にすることを通じ、自己ベストを目指して努力することの尊さ、スポーツを通じた友情や尊敬を学ぶきっかけとなる。また、様々な障がいのあるアスリートが創意工夫を凝らして限界に挑むパラリンピックにおいては、多様性を認め、誰もが個性や能力を発揮し、活躍できる機会が与えられており、共生社会の重要性を学ぶきっかけとなる。このような教育的価値を持つオリンピック・パラリンピックのテーマを教育活動に取り込むため。
5 取組内容	視聴覚教室において、「出会いに感謝 ～思い続けたオリンピック～」という演題でオリンピック意義や価値・経験談など50分間の講演を実施した。
6 主な成果	・オリンピックより直接語ってもらうことにより、オリンピックを身近に感じる事ができた。また、東京五輪に興味・関心が湧いたという生徒が増えた。 ・体験談から、最後までやり通すことの大切さを理解することができた。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	オリンピックの一方的な話にならないよう、質疑応答の時間を一定程度設けた。
8 主な課題等	スポーツ離れ、テレビ離れが進む中、現代の生徒が知るオリンピックやアスリートは少なくなっている。
9 来年度以降の実施予定	来年度もオリンピックを招聘し、今年度と同様に講演会を実施したい。